

# 農林漁業のうごき

京都府 No.173 平成27年 はる号

初輸出!

## KYOTO BEEF 雅

(8ページに関連記事)



▲京都フェアでは、京野菜を使った料理でもてなし (シンガポール)



©京都府 まゆまる 2658012



▲海外輸出向けパンフレット



▲輸出出発式では“雅”をアピール (関西国際空港)

### 主な内容

特集 1	「農林水産京カプラン」のセカンドステージがスタートします	2~3
特集 2	平成27年度 農林水産関係当初予算の概要	4~7
特集 3	元気です！ 京都府産の畜産物	8
特集 4	地域に新たな息吹をもたらす「交流」	9
地域の取組	丹後産コシヒカリが12回目の「特A」獲得！！ 木の良さ・温かさを実感！～府内産木材の利用拡大をめざして～ 最新の林業機械を体験！子どもたちは興味津々 地域と企業が連携してモデルフォレスト運動！	10~11
シリーズ	第2回 第40回育樹祭(平成28年秋)に向けて	12

4/19(日)、丹後あじわいの郷は  
丹後王国「食のみやこ」にリニューアル致します

-丹後七姫伝説-

# 「農林水産京カプラン」の セカンドステージがスタートします

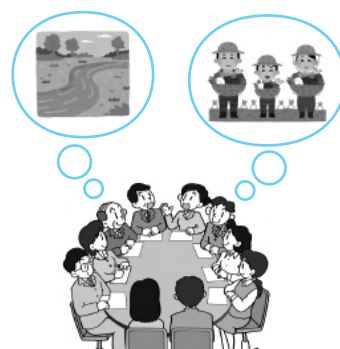
京都府の基本計画「明日の京都」に示されている農林水産関連施策を実現するために平成23年3月に策定した「農林水産京カプラン」。

TPP交渉や人口減少社会突入など変化する情勢に対応するため、施策を見直し、平成27年4月からセカンドステージとして新たにスタートします。(計画期間：平成27年度～平成30年度)

## 1 農林水産施策を一体的に推進するための新たな仕組み

### 「京都府農林水産戦略会議（仮称）」の創設

行政と農林水産業関係団体の代表者、有識者等が一堂に会し、「人材育成」や「6次産業化」など、オール京都体制で取り組む重点施策について今後の方向性を協議し、各般の施策を戦略的・有機的に推進



## 2 分野別施策の主な方向性

### 人づくり・組織づくり

#### ■各地に人材育成拠点「学舎」を配置。地域の経営実態に応じた人材を育成

- 海の民学舎、畜産版担い手養成実践学舎、茶業担い手養成学舎など試験研究機関の研修機能を強化して、各地に人材育成拠点を配置するとともに、「京都次世代型人材育成推進機構（仮称）」を創設し、異業種交流、ビジネス講座を通じて経営力のある人材を育成

#### ■「京都農業農村創生センター（仮称）」創設による持続的な営農の仕組みづくり

- 農地中間管理機構や農業会議、市町村等との協働により「京都農業農村創生センター（仮称）」を設置し、担い手確保や農地集積、ものづくりを一体的に推進
- 繁忙期の農作業支援（アグリサポート）を行う組織の設立を支援
- 小規模専業農家や兼業農家、週末農家を支援するオーダーメイド支援制度により多様な担い手を確保



#### ■「丹後王国『食のみやこ』」の10次産業化による次世代の食関連産業の育成

- 「丹後あじわいの郷」を10次産業化の拠点「丹後王国『食のみやこ』」にリニューアル
- 地域食材にこだわった食事の提供や加工品の開発など食関連ビジネス（6次産業）を展開するとともに、6次産業化の実践的かつ総合的な研修により、食産業を支える人材を育成（4次産業）

### 地域づくり・絆づくり

#### ■「命の里絆づくりセンター（仮称）」創設による集落機能の強化

- 「里の公共員」を配置して、「里の仕事人」と協働し、高齢者支援や子育て環境、医療・福祉も含めた総合的な定住環境の整備、農村ビジネス興しを支援し、人や集落の「絆」を維持・再生

## ■農山漁村地域への移住支援と耕作放棄地・空き家利用の一体的促進

- 「移住コンシェルジュ」を配置し、移住相談から地域定着まで一貫してサポート
- 農地と空き家をセットにした移住支援、IT環境やシェアオフィスの整備など多様なライフスタイルに応じたきめ細かな支援による移住促進

## ■美しい景観や伝統文化などの資源を活用した「美しい京都村」づくり

- 棚田や茶畑、竹林の修景整備など、地域の営みや生業を通して受け継がれてきた独特で美しい農山漁村の景観を次世代へ継承
- 展望・散策道、農家カフェの整備など、地域の歴史、文化、旬の食材に親しみながら地域の人との交流を楽しむことができる都市農村交流を促進



## ものづくり・販路づくり

### ■酒米や京野菜など需要と結びついた作物への転換を図る水田農業の再構築

- 「京力農場づくり」により効率的な生産体制を構築
- 分業化、機械化への移行や、ICT、ロボット技術を活用したスマートアグリ導入支援などによる生産拡大

### ■「健康京野菜」など新たな需要開拓と輸出を含む流通・販売戦略

- 6次産業化プロジェクトの推進や中食・外食向け流通体制の整備、ICTを活用した宅配サービスや直売所の展開、京の食文化と合わせた京野菜や京都府産牛肉「Kyoto Beef 雅」の輸出促進

## 安心・安全づくり

### ■食べ物への感謝の心を育む「実践型食育」の推進

- 食育に取り組む団体や個人が参画する「食育プラットフォーム」により、学校や企業、地域から家庭に至るまで、府民協働による「実践型食育」を推進



### ■災害に備えた府民参画による総合的な安全の確保

- 集中豪雨や地震等による山地災害に備えた治山施設の点検・補修と老朽化したため池における防災事業の推進
- 「森林適正管理条例」により森林所有者とともに森林の適正な管理を進め、防災対策を強化
- 地域ぐるみでのワークショップによるハザードマップの作成と迅速かつ確かな情報提供体制の強化

## 森林・緑環境づくり

### ■川上（生産）から川下（利用）まで一体となった成長型林業の実現

- 高性能林業機械の導入や資源情報の高度活用による需要ニーズに対応した木材の安定供給体制の構築
- 大型加工施設の誘致等による府内産原木の需要開拓、CLT新工法の確立や新工法に携わる担い手を育成する「木造建築道場（仮称）」の開設などにより木材利用を拡大



### ■府民参画による森林づくり・河川環境保全の推進と野生鳥獣被害対策の強化

- 平成28年に京都府で開催する全国育樹祭を契機としたモデルフォレスト運動の更なる拡大
- 大型捕獲機の導入や広域捕獲等、被害を与える野生鳥獣を適正管理



**特集**  
**2**

# 平成27年度 農林水産関係当初予算の概要

(平成26年度2月補正予算を含む)

京都府では、「災害からの安心・安全の確保」、「地域経済の活性化」、「京都の未来への創生」に向け、国・市町村・民間など京都の力を結集して14か月予算で3つの柱に重点投資することとし、一般会計で9,630億6,700万円となる平成27年度当初予算を編成しました。(平成26年度2月補正予算を含めると、9,719億6,039万円)

農林水産業においても、農地の集積について、借りたい人に農地が届いていない現状を踏まえ、「京都農業農村創生センター（仮称）」を設置し、農地の出し手・受け手対策及び規模拡大・6次産業化を一気通貫で支援するとともに、府内の農林水産業が担い手の減少・高齢化、産地間競争の激化等厳しい状況にあることから、「京都府農林水産戦略会議（仮称）」を設置し、オール京都体制で施策を戦略的、有機的に推進することで、農林水産業を将来にわたって持続的に発展させるとともに、農山漁村地域の振興を図ることとし、一般会計で約210億円（平成26年度2月補正予算を含めると、約222億円）の農林水産関係予算を計上しました。

## 1 「京都府農林水産戦略会議（仮称）」の設置

**新** 農林水産戦略推進事業 ————— 100万円

行政や農林水産業関係団体等で構成する「京都府農林水産戦略会議（仮称）」を設置し、オール京都体制で各般の施策を戦略的、有機的に推進します。

## 2 農林水産業を守り育てる戦略【産業戦略】

### (1) 農業戦略

農業フロンティア戦略 ～農地の掘り起こし・マッチングと規模拡大・6次産業化支援による経営基盤強化～

**新** 農業フロンティア事業 ————— 5億8,823万円

〈農地の掘り起こし・マッチング〉

担い手農地活用加速化事業 ————— 4億323万円

農業経営の規模拡大、農用地の集団化、新規農業参入の促進等により、担い手のニーズに対応した農地集積を加速化します。

〈規模拡大・6次産業化支援〉

京力農場づくり事業 ————— 1億8,500万円

核となる農業法人等が、農地集積や契約栽培等により、中核的な担い手が不足する集落を牽引する農業経営構造へ転換します。

需要対応生産戦略 ～高収益型作物への転換・生産の安定化（周年・安定供給）～

京野菜等生産加速化事業 ————— 1億4,880万円

京野菜の生産拡大や安定出荷に必要な施設整備等を支援するとともに、普及センターによる技術指導等伴走支援を実施します。

酒米生産加速化事業 ————— 3,000万円

酒米の安定供給に必要な施設整備等を支援します。

- 新** 京都米特選ブランド化推進事業 ————— 3,330 万円  
米価向上に向けて、特色ある京都産米の産地づくり及び1等米比率向上など消費者を意識したおいしい米づくりを支援します。

**農業生産維持戦略 ～多様なニーズに対応し、持続可能な農業を下支え～**

- 新** オーダーメイド農家総合支援対策事業 ————— 2,180 万円  
多様な農家のタイプに応じてきめ細やかに応える総合的な支援で、農村の支え手を確保・育成します。
- 中山間地域特産物生産応援事業** ————— 4,500 万円  
収入維持・確保による農業生産活動の継続を図るため、実需者からの要望のある品目や新たな「地産地商」品目などの導入を支援します。
- 農と環境を守る地域協働活動支援事業** ————— 11 億 1,000 万円  
地域ぐるみで農地や農業用水等の保全を図る共同活動や施設の長寿命化を図る向上活動を支援します。
- 中山間地域等直接支払事業** ————— 5 億 7,500 万円  
中山間地域等における農業生産活動及び多面的機能を増進する活動を支援します。
- 有機農業・環境調和型農業支援事業** ————— 2,000 万円  
有機農業をはじめとする地球温暖化防止等に効果の高い営農活動を支援します。

**(2) 林業戦略 ～川上から川下まで一体となった成長型林業の実現～**

- 新** 成長型林業推進事業 ————— 8 億 2,900 万円  
大型加工施設の誘致や府内産木材の増産体制強化・利活用の推進、需要拡大対策等、川上から川下まで一体となった成長型林業を実現します。

**(3) 水産業戦略 ～幅広い人材育成による漁業・漁村の活性化～**

- 海の民学舎事業** ————— 390 万円  
新規就業希望者に対し、実践的な講義・実習を実施するとともに、漁村定着を支援します。

**(4) 次代を担う人材育成戦略 ～オール京都で農林水産業を支える次代の担い手を育成～**

- 新** 京都次世代育成学舎事業（一部再掲） ————— 7,511 万円  
農林水産業の各分野の連携の下、府内の高等教育機関や試験研究機関等が一体となった次代の担い手を育成する仕組みを創設します。
- 大規模野菜作の農業経営者を育成する「丹後農業実践型学舎」
  - 「食」に関わる人材育成をする「丹後王国『食のみやこ』」（丹後あじわいの郷）
  - 経営継承を希望する畜産農家への新規就農を支援する「畜産版担い手養成実践学舎」
  - 新規就業者の育成及び若手・中堅漁業者の研修を実施する「海の民学舎」
  - 森林技術者の技能向上とキャリア形成につなげる「林業の星制度」の創設

- 上記のうち、**農業経営実践型学舎事業** ————— 6,869 万円  
丹後国営開発農地のスケールメリットをいかした大規模野菜作を実践できる担い手の育成・確保及びブランド京野菜の一大産地の形成を推進します。

- 中核新規就農者倍増事業** ————— 4 億 7,050 万円  
就農・就業希望者の相談から技術習得、地域定着までをワンストップで支援します。

**(5) 農林水産業 6 次産業化戦略** ～ブランド化・6 次産業化による成長産業としての基盤の確立～

**ブランド京野菜需要開拓事業** ————— 9,751 万円

メディア等の発信力が高い首都圏での高付加価値戦略と府内における量的拡大戦略を両輪とした京野菜等の販売戦略を実施します。

**京都 6 次産業プロジェクト戦略事業** ————— 7,340 万円

産地と食品関連企業が連携した新商品開発や「学ぶ・食べる・買う」の機能をもつ「京野菜ランド」の販売力強化など農林水産業の 6 次産業化の取組を支援します。

**丹後 10 次産業化拠点づくり事業** ————— 1 億 1,000 万円

丹後あじわいの郷を、丹後の本物の食を味わう拠点、丹後食材を使ったオリジナル特産品開発（6 次産業）や「食」に関わる人材育成（4 次産業）を行う 10 次産業化拠点、丹後地域の観光拠点とするために必要な施設整備等を実施します。

**新 京の伝統野菜復活支援事業** ————— 500 万円

生産現場から姿を消した、消えつつある「京の伝統野菜」の復活に向けた取組を「京の伝統野菜復活プロジェクト」として立ち上げ実施します。

**新 「京もの祭」 開催事業** ————— 2,000 万円

農林水産業者等が出店する物産展を府内各地で開催し、消費を喚起します。

**健康京野菜研究開発事業** ————— 600 万円

京野菜の「発がん予防効果」等を医学的に検証するとともに、「健康京野菜」食品の商品化・販売を促進し、新たな京野菜需要を創出します。

**3 農山村の交流・創生戦略【地域戦略】**

**海の京都**

～ターゲットイヤーとなる平成 27 年度は、これまでの成果をいかすとともに、「海の京都博（仮称）」をはじめとする集中的な観光プロモーション等を展開し、大交流 1 千万人を創出～

**丹後 10 次産業化拠点づくり事業（再掲）** ————— 1 億 1,000 万円

**森の京都**

～平成 27 年度の国定公園の新規指定、「森の京都博」としての平成 28 年度の全国育樹祭などを契機に、森林文化の発信、林業振興等を推進～

**新 成長型林業推進事業（再掲）** ————— 8 億 2,900 万円

**京都モデルフォレスト推進事業** ————— 600 万円

府民参画・府民協働による多様な森づくりを推進するとともに、府民みんなで京都の森を守り育む「京都モデルフォレスト」運動を推進します。

**全国育樹祭開催準備事業** ————— 1,760 万円

「全国育樹祭」の平成 28 年度開催に向けて本格的に準備に着手します。

**お茶の京都**

～茶畑景観や茶問屋の街並み、地域に根ざしたお茶文化の維持・継承するとともに、その魅力をさらに高めるための取組を実施～

**宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業** ————— 2,550 万円

宇治茶の世界文化遺産登録に向けて、宇治茶生産の景観形成及び府民運動の拡大を推進します。

**茶業研究所機能強化整備事業** ————— 4,177 万円

企業・大学等との連携・交流の促進など茶業研究所の機能強化を図るための基本・実施設計を実施します。

**集落機能維持・向上戦略**

～村の活力と生活満足度を維持・向上～

**明日の「京都村」づくり事業** ————— 4,000 万円

地域住民自らが描く村の将来像の実現に向け、地域資源をいかした村オリジナルの農村ビジネスや村づくりを支援します。

**明日のむら人移住促進事業** ————— 6,480 万円

移住相談から地域定着までを伴走支援する「移住コンシェルジュ」を配置するとともに、空き家を活用した定住住宅の整備等を支援することで、都市部からの移住希望者の受入を促進します。

**共に育む「命の里」新展開事業** ————— 1 億 2,460 万円

後継者不足や農林地の荒廃など厳しい状況にある農山村地域において、緊急的かつ総合的な里の人づくり・基礎づくりを展開します。

**「命の里」京都農村再生事業** ————— 1,600 万円

過疎地域に居住し、地域の維持・発展をサポートする「里の公共員」を配置します。

**3 暮らしの安心・安全対策**

**きょうと「食の安心・安全」確保事業（農林水産関係予算以外を含む）** ————— 3,258 万円

多発する食品偽装や残留農薬等、府民の食への不安が高まる中、食品表示の適正化、食品衛生監視指導等を強化することにより、府民の食への信頼の回復を図ります。

**新 保安林等適正整備事業** ————— 3 億 5,600 万円

災害発生が危惧される集落に関わりの深い保安林等において、安心・安全な地域づくりのため、間伐等の森林整備及び治山施設の整備等を実施します。

**野生鳥獣被害総合対策事業** ————— 6 億 483 万円

野生鳥獣被害に強い地域づくりを進めるため、有害鳥獣捕獲や捕獲の担い手育成、地域ぐるみの防除対策等を実施します。

**4 農林水産業の基盤整備**

**農林水産業基盤整備事業（農林水産関係予算以外を含む）** ————— 75 億 6,761 万円

農林水産業の生産基盤及び農山漁村地域の整備を実施します。

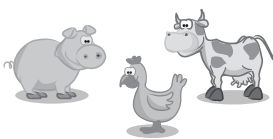
**農林水産部関係災害復旧事業** ————— 4 億 1,320 万円

耕地や林道の災害復旧事業を実施します。

農政課 経理担当 TEL：075-414-4948

**家畜を飼育している皆さんへ**

家畜飼養に係る衛生管理の状況等について定期報告が法律で義務化されました



**報 告 期 限**

毎年 **4月15日** 毎年 **6月15日**  
 (牛、馬、めん山羊、豚など) (鶏、あひる、だちょうなど)

お問合せは、最寄りの家畜保健衛生所へ

**農 作 業 安 全**

～平成27年春の農作業安全運動開始～

**運動期間 4月1日～6月30日**

**「安全は知識と意識と心がけ」  
安全確認を徹底しよう!!**

春の農繁期、田植機やトラクター等の操作には十分注意して、農作業事故を防ぎましょう。





特集  
3

# 元気です! 京都府産の畜産物



「京のこだわり畜産物生産農場」の畜産物が西日本や関西のコンクールにおいて最優秀賞を続々受賞!

～京都府産畜産物が高品質であることが、数々の大会で認められています～

## 牛肉で受賞! 11月 京都丹波牧場(南丹市)

神戸牛、近江牛なども出品された「第61回近畿東海北陸連合肉牛共進会」の去勢牛の部で、名だたる銘柄牛をおさえて、最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞。



京都丹波牧場 平井和恵さん

## 生乳で受賞! 11月 野村牧場(京丹後市)

近畿の酪農家で最も良質な生乳を生産する農場を表彰する「High Quality Milk Award 2014」で、最優秀賞を受賞。



野村牧場 野村拓也さん

## 豚肉で受賞! 9月 日吉ファーム(京丹波町)

西日本を中心に良質な豚肉253頭が出品された「第2回西日本豚枝肉コンクール」で、最優秀賞(農林水産大臣賞)を2年連続で受賞。



日吉ファーム 北側勉さん

～ Do you know「Kyoto Beef 雅」?～

## 京都府産和牛肉輸出用ブランドを命名・シンガポール等に初輸出!



ふるまわれた石焼きステーキ

シンガポールの日本料理店では、京都フェアとして和食コース料理のメインディッシュに西京味噌漬けの石焼きステーキ等が提供され、そのおいしさに驚いた現地の方がその場で小売を希望されるなど、期待どおりの高い評価を得ています。

今後も、アジアをはじめ世界に「Kyoto Beef 雅」ブランドを広げていきたいと考えています。

輸出用京都府産和牛肉の販売戦略の一本化に向けて、1月に肉牛生産者と関係機関が輸出用ブランドを「Kyoto Beef 雅」と命名しました。2月には京都丹波牧場(南丹市)からシンガポールへ、3月には和知町升谷畜産振興組合(京丹波町)からアメリカへ、それぞれロースなどを輸出しました。

シンガポールの日本

料理店では、京都フェアとして和食コース料理のメインディッシュに西京味噌漬けの石焼きステーキ等が提供され、そのおいしさに驚いた現地の方がその場で小売を希望されるなど、期待どおりの高い評価を得ています。



輸出發式でのテープカット  
(平成27年2月2日 関西国際空港)



特集  
4

## 地域に新たな息吹をもたらす「交流」

## 京力農場づくり推進大会が盛大に開催

～「活かそう農地、育もう担い手！ 未来に向かって地域農業を創ろう」～

集落型農業法人等の経営者約260名が一堂に会し、モデル事例から新たな経営展開の手法を学ぶことで地域農業の活性化を目指す「京力農場づくり推進大会」が開催されました。

「永続する農業そして地域・農村経営を目指して」と題した講演に続き、複数集落との連携による農地集積の推進や多角的経営の展開による企業的経営のあり方などについてグループ討議が行われ、参加者からは「農地集積を進めるために、今後地域での話し合いを活発にしたい」との声が聞かれるなど、参加者同士が交流を通じて、経営者としての意識を高める機会となりました。



熱心に討議する参加者  
(平成27年1月19日 亀岡市)

担い手支援課 農業ビジネス担当 TEL: 075-414-4908

## 森林・林業・木材産業京都会議を開催 ～オール京都で森づくり、木材利用を推進～

府内の林業・木材産業の関係者、企業及びボランティア団体のオール京都で森づくり、木材利用を推進するため、森林・林業・木材産業京都会議が開催されました。

森林・林業を基軸に地域再生を目指す岡山県西粟倉村村長の講演に続き、川上(生産)から川下(利用)の事業者が連携した木材需要拡大に向けた取組や、地域との連携・交流に発展したモデルフォレスト運動に関する報告等が行われました。「他団体の活動を知るよい機会だった」「自分たちの課題が見えてきた」などの声が聞かれるなど、京都の森づくりにおける交流の輪を広げる機会となりました。



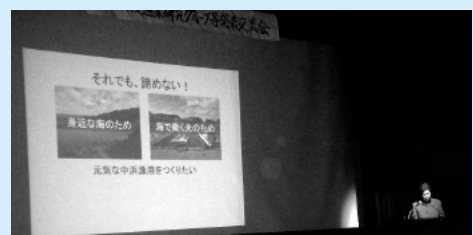
活発な意見交換に約400名が参加  
(平成27年1月26日 京都市)

林務課 企画・経営担当 TEL: 075-414-5015

## 「未来に向かって」漁業研究グループ等発表交流会

府内漁業者等が日頃の活動状況を発表し、水産業と漁村の振興・発展を目指す交流会が開催されました。

東京から伊根町に移住し、漁師での独立を目指している漁業研修生や、「夫が命がけて獲ってきたのものにもどかしい思いでいた」と流通できずにいた地元の魚を、京丹後市中浜漁港を拠点に販売し始めた漁協婦人部、漁業者や農業高校生らと協力してウニなどの肥料化を試みた海洋高校の生徒たち等がそれぞれの取組を発表し、参加した漁業者等約200名と、水産業と漁村の未来に向けた思いを共有しました。



漁協婦人部による発表  
(平成27年1月16日 宮津市)

水産事務所 海のにぎわい課 TEL: 0772-22-7067

## 地域の取組

丹後

## 丹後産コシヒカリが12回目の「特A」獲得!!

丹後産コシヒカリは、丹後地域の食関連産業の発展を目指す「丹後・食の王国」構想の中心アイテムです。この度、(一財)日本穀物検定協会が発表した平成26年産米の食味ランキングにおいて、4年連続で丹後産コシヒカリが最上級ランクの「特A」を獲得しました。過去12回、この10年間で7回目の獲得となり、西日本最多の記録を更新中です。

丹後産コシヒカリの生産については、稲作管理特報を発行したり、病害虫発生情報や気象速報などを携帯メールでタイムリーにお知らせしたりするなど、「特A」維持のための技術対策が徹底されています。また、農家の良食味米生産の意欲向上や食味向上技術の普及を図るための「丹後産コシヒカリ良食味米共励会」を実施しており、26年度は113名の参加がありました。

今後も、農家とJA、市町、京都府の関係機関が一丸となって、「特A」産地の維持を目指します。



特Aの評価を得た丹後産コシヒカリ

丹後広域振興局 農林商工部 丹後農業改良普及センター TEL: 0772-62-4308

中丹

## 木の良さ・温かさを実感! ～府内産木材の利用拡大をめざして～

中丹広域振興局では、木材利用を通じた森林整備を進めるため、丹州材の利用を広く呼びかける「丹州材利用拡大セミナー」を開催しました。

先進的な木造建築についての講演や府内産木材の供給システムの紹介のほか、府内産木材をふんだんに使用した保育園を見学し、参加者からは「木材利用の意義や木造建築の法規制、地域の木材利用を進める上での課題が理解できた」「木造建築の良さを再認識した」などのご感想をいただきました。平成27年度も引き続き、木材生産から加工・利用について関係者と連携し、幼稚園や公民館など中規模建築物での木材利用を学習する「木づかい塾」の開催などにより、「木の良さ」を発信し、府内産木材の利用拡大に向けて取組を進めていきます。

※丹州材：京都府北部地域で生産されたスギ、ヒノキの愛称

木造建築についての講演  
(平成26年12月6日舞鶴市)府内産木材を使用した  
保育園の見学会

中丹広域振興局 農林商工部 森づくり推進室 林業振興担当 TEL: 0773-62-2586

南丹

## 最新の林業機械を体験！子どもたちは興味津々

亀岡市立千代川小学校の5年生(99名)が社会科実習として、南丹市日吉町内の森林で、最新の機械を使った林業作業の体験学習をしました。

子どもたちは、森林組合のオペレーターから林業の仕事について詳しく説明を受けたほか、実際に大型機械が動いている伐採現場を間近に見たり、機械に試乗したりしながら、日本の林業の現状・課題・未来について質問していました。

次世代を担う子供たちに「林業の大切さ・面白さ・カッコよさを伝える」森林組合等や、林業研究グループが実施する小学生への林業体験活動を、南丹広域振興局でも支援していきます。



カッコいい機械を取り囲み、オペレーターのお兄さんへ質問攻め(平成27年1月)



最新の林業機械の試乗は大人気、列を作って順番待ち(平成27年1月)

南丹広域振興局 農林商工部 森づくり推進室 林業振興担当 TEL: 0771-22-1017

山城

## 地域と企業が連携してモデルフォレスト運動！

井手町内の自然環境の整備に取り組む団体「井手町豊かな緑と清流を守る協議会」では、野外活動施設「大正池グリーンパーク」周辺で森林保全活動に取り組んでいます。

この団体の取組が、地域と企業が連携して継続的に森林活動に取り組む優良事例として評価され、平成26年度京都モデルフォレスト協会理事長賞を受賞しました。同協議会は地域の小中学校も構成員となっており、林間学校や木工教室などの活動を通じて、担い手の育成にも寄与しています。

京都府では、「京都モデルフォレスト運動」においてこのような府民ぐるみで京都の森を守り育む活動を推進していきます。

※井手町豊かな緑と清流を守る協議会(中坊睦会長)  
ワタキューセイモア(株)、オムロン(株)京阪奈イノベーションセンター及び地域のNPO団体等で構成される地域団体。



モデルフォレスト協会理事長賞受賞(平成27年1月26日)



広葉樹植栽地での下刈り作業(平成26年10月)

山城広域振興局 農林商工部 森づくり推進室 林業振興担当 TEL: 0774-21-3450



シリーズ 第2回  
第40回育樹祭(平成28年秋)に向けて

京都府では、「第40回全国育樹祭」を「森の京都」を象徴する行事に位置づけ、森の文化の魅力を全国に発信し、「森」を通じた様々な交流を活発化させる契機として開催します。

開催会場が決定！

昨年12月22日、公益社団法人国土緑化推進機構との共同記者会見において、次のとおり決定しました。



左：前田副理事長 共同記者会見の様子 右：山田知事

式典会場：  
府民の森ひよし(南丹市日吉町)

ゆたかな自然とふれあい、森林体験や学習ができる施設。緑化功労者の表彰、緑の少年団の活動発表、大会宣言、アトラクション等が行われる予定です。



府民の森ひよし



しだれ桜(京都府の花)と北山スギ(京都府の木)

お手入れ会場：  
山城総合運動公園ふれあいの森(宇治市)

平成3年の全国植樹祭において、天皇皇后両陛下が北山スギとしだれ桜をお手植えされた場所。この北山スギとしだれ桜を皇族殿下がお手入れされます。

モデルフォレスト推進課 全国育樹祭担当 TEL：075-414-5005

広告

相合い傘  
濡れてる方が  
惚れてる

そんなあなたと  
ながしい、おつきあい。

飾らない銀行  
京都銀行

広告

京丹波のおいしい水と  
澄んだ空気で育てました

大黒本しめじ 大粒丹波しめじ (はたけしめじ)

瑞穂農林株式会社  
〒622-0313 京都府船井郡京丹波町保井谷三ツ枝 38 番地  
TEL：0771-86-1500 FAX：0771-86-1681

▶ 広告について 京都府においては、府民の皆様からお預かりしている大切な府有資産等(ホームページ、印刷物、施設等)を有効活用して得られた収入を、府の政策実現に活用し、府民満足の上昇を図るため、平成19年12月から広告事業に取り組んでいます。本冊子についてもホームページを通じた公募を行い、応募いただいた民間企業等の広告を本冊子に掲載しております

発行/平成27年3月

編集/〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL：075-414-4946 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

世界人権宣言 65 周年キャンペーン 「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした人権啓発イメージソング  
「世界がひとつの家族のように」ができました。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか  
公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>